工事説明書 INAX TBH-FFV-LR(呼び径D80)

■この工事説明書は、工事作業者様が正しく、安全な工事をする為に必要な指導書となるものです。工事開始前に必ずお読みください。

安全上のご注意

●ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ据え付けてください。
ここに示した事項は⚠警告⚠注意に区分しています。

⚠警告：施工を誤った場合、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が想定される場合
⚠注意：施工を誤った場合、使用者が傷害を負う危険が想定される場合及び物的損害のみの発生が想定される場合

●「⚠注意」の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

●取付工事完了後、試運転を行ない異常がないことを確認するとともに取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。取扱説明書はお客様で保管頂くように依頼してください。

給排気筒工事は燃焼を正しく行うためと安全性の点から極めて大切な工事です。
この説明書と機器本体の工事説明書をよくお読みの上指定された工事を行なってください。

⚠警告

1.取付工事の不備は危険

(1)取り付けは、お買上げの販売店又は専門業者に依頼してください。
ご自分で取付工事をされ不備があると、燃焼不良や火災の原因になります。

(2)取付工事は、この取付工事説明書に従って確実に行なってください。
取り付けに不備があると、燃焼不良や火災の原因になります。
又、強度不足や取り付けが不完全な場合は、部品のはずれや落下により、ケガの原因になります。

(3)取付工事部品は必ず付属部品および指定の部品を使用してください。指定部品を使用しないと接続部のはずれや落下、燃焼不良や火災の原因になります。

(4)取付け場所の選定には、下記の内容を守ってください。

●各地の火災予防条例では、給排気筒の設置基準を定めておりますので、必ず厳守して工事してください。
・付近に燃えやすいものがない場合
・十分排気の行なえる場所
・排気工事が基準通なりに行なえる場所

2.外れ危険

(1)給排気筒(管・ホース)が正しく接続されているか点検してください。
外れていると運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。

(2)取付可能な壁厚寸法(65㎜～250㎜)を守ってください。
守られていないと給排気筒がはずれて、排ガスが室内に洩れて危険です。
又壁厚が小さすぎると給排気筒内に水が侵入し危険です。

3. 給排気筒トップ閉そく危険

積雪の多い地域では、給排気筒トップが雪でふさがれないような位置に設置してください。排ガスを再度吸い込んで不完全燃焼を起こすことがあります。

⚠注意

1. やけど注意

排気管は高温になります。排気管にふれないよう注意してください。
排気屋内延長断熱材(FH-DP1.0)を使用すると、より安全です。

1 開こん

●梱包の中には下記の部品が入っておりますので、開こんの際紛失しないよう注意して

排気屋内延長断熱材(FH-DP1.0)を使用すると、より安全です。

1 開こん

●梱包の中には下記の部品が入っておりますので、開こんの際紛失しないよう注意してください。

給排気筒ボデー P70・Oリング付	1個	異径伸縮管付 P80・Oリング付	1個
エルボ P80・Oリング付 伸縮管 P80・Oリング付	組立品 1個	ストップリングD	1個
		ストップリングC (φ80用)	1個
給気ホース (左ネジ)	1個	ゴムカフス	2個
フランジ (屋外側用)	1個	パッキン	2個
給排気スライド管	1個	ストップリングE	1個
ホースバンド	2個	ストップリングF	1個
ストップリングA	1個	固定ネジ	1セット

●この給排気筒に使用しているOリングはJIS2401 4種Cで呼びはP70およびP80です。(耐熱用)

2 給排気筒取付け場所の選定

●機器を据付けるには次の注意点を充分に考慮して適当な場所を選定してください。
各地の火災予防条例では給排気筒の設置基準を定めておりますので、必ず厳守して工事してください。

給排気筒取付け場所の選定

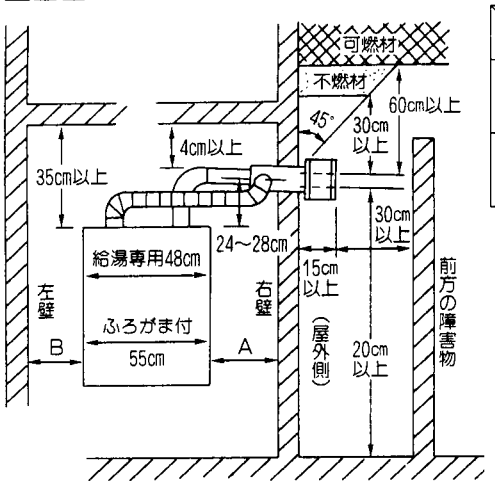
●給排気筒は外気に通じる壁に取付けてください。(必ず屋外に排気してください。)
●給排気筒は集合煙突には絶体に取付けないでください。
●給排気筒が床下・天井を貫通しなければ取付けられない場合は設置しないでください。

給排気筒セット

●本体から給排気筒まで延長管の長さが３m、曲がり箇所が３ヵ所を越えるところには据付けないでください。
●壁に穴をあける場合は壁の厚さが25cm以下で壁の内部にある電気配線、ガス管、水道管の近くをさけてください。またメタルラス張り、ワイヤーラス張りの壁に取付ける場合には、給排気筒の外周に市販の絶縁テープ等を巻いて電気的絶縁をしてください。
●人通りの激しいところや、雪や風の吹きだまりになるような場所、ツララの真下になるようなところには取付けないでください。
●給排気筒の周囲や近くに、危険物や障害物のないところを選んでください。

給排気筒の標準取付け図

正面図

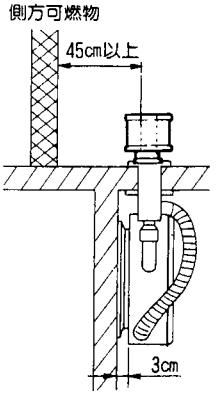


(cm)

	給湯専用	ふろがま付給湯機
A寸法	18~32	19~33
B寸法	5~12	4

●給排気筒セット(OB-KT3FF)のみで設置できる本体と左右壁面の距離は上の表の通りです。
●これ以上の寸法で設置する場合は延長用別販部材が必要です。

側面図



可燃物との距離

●給排気筒は、木材などの可燃物から、「給排気筒の標準取付け図」に示す距離をとってください。
●周囲が不燃材料で有効に仕上げられた建築物等の部分及び防熱板の場合の距離はA＝５cm以上緩和されます。
●B寸法は各々の製品の工事説明書に従ってください。

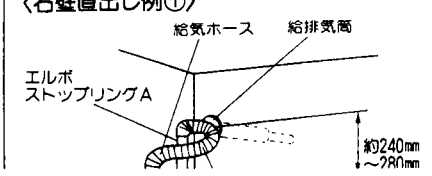
給排気筒の距離

●排気出口と上方可燃物との距離は60cm以上(不燃物の場合は30cm以上)あること。
●排気出口と側方障害物との距離は45cm以上あること。
●前方に堀や建物がある場合は、給排気筒と前方障害物との距離は15cm以上離し、かつ上方、および両側方に気流を阻止する障害物がないこと。
●排気出口下面は、地面などから20cm以上離すこと。
■寒冷地(積雪地域)では、地表面から給排気筒までの距離を出来るだけ大きくとって給排気筒が雪で閉塞されないように注意してください。

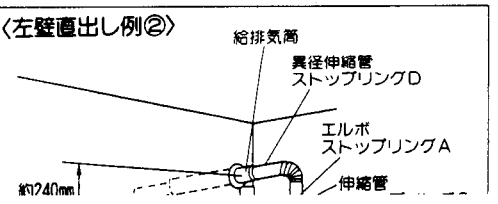
3 給排気筒の取付け方法

下記取り付け例を参考に給排気管工事を行ってください。(延長方式の場合、「延長用部材別販品」が必要です)

〈右壁直出し例①〉



〈左壁直出し例②〉

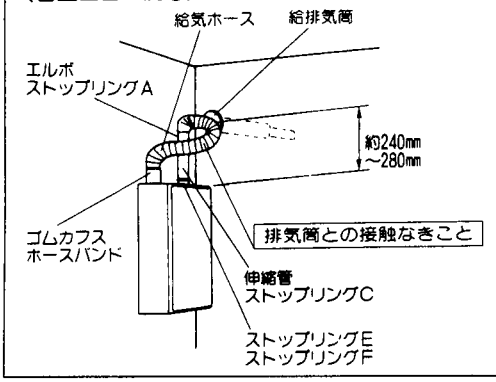


●排気出口下面は、地面などから20cm以上離すこと。
■寒冷地(積雪地域)では、地表面から給排気筒までの距離を出来るだけ大きくとって給排気筒が雪で閉塞されないように注意してください。

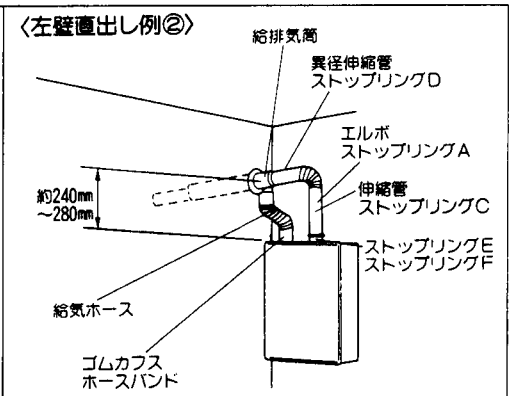
3 給排気筒の取付け方法

下記取り付け例を参考に給排気管工事を行ってください。(延長方式の場合、「延長用部材別販品」が必要です)

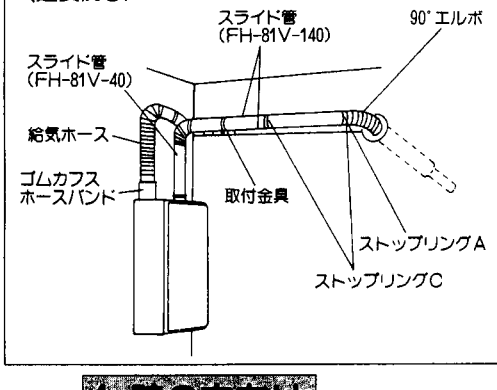
〈右壁直出し例①〉



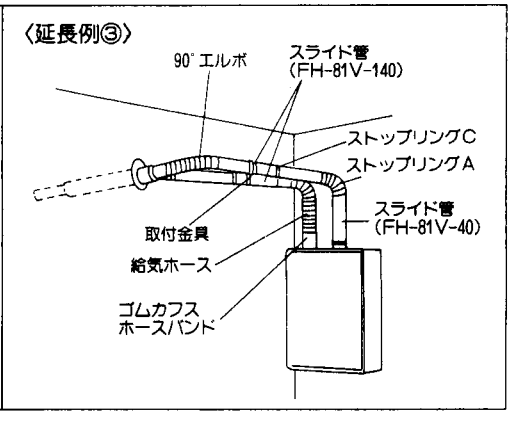
〈左壁直出し例②〉



〈延長例②〉



〈延長例③〉

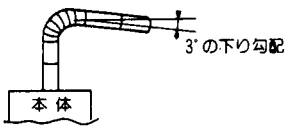


1.壁の穴あけ

●壁の穴径はφ120mmです。
●取付可能な壁厚は65mm~250mmです。
●壁厚さ250~500mmまでの場所に使用する場合は別販の「二重管給排気筒用中継管」を使用してください。
●穴の位置は上図を参考にして決めてください。
●延長方式で設置する場合、排気筒の横引き部分は燃焼によって発生する水滴を屋外に排出させるため、必ず約3°の傾斜で下向きに取り付けてください。

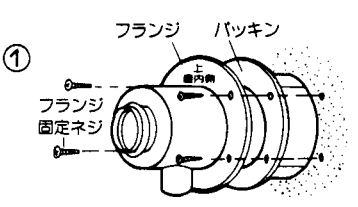
(mm)

中継管	対象壁厚
TBH-FFV-AD	400~500
TBH-FFV-AD2	300~400
TBH-FFV-AD3	250~300



2.給排気筒の取付け

①. 給排気筒ボデーにパッキンを組込んだ後に給排気筒ボディーを壁穴に差込みフランジの(屋内側上)表示が上にくるようにして付属のビス(M4×25)4本で壁に取付けます。



工 事 説 明 書

壁がコンクリートやタイルなどの硬質壁の場合、またメタルラス張り、ワイヤーラス張りの壁に取付ける場合は付属のカールプラグを打込んでからネジで止めてください。(φ6.4mmのドリルで下穴をあけてください。)

②. 屋外側は付属のパッキンとフランジを給排気スライド管に差込みます。

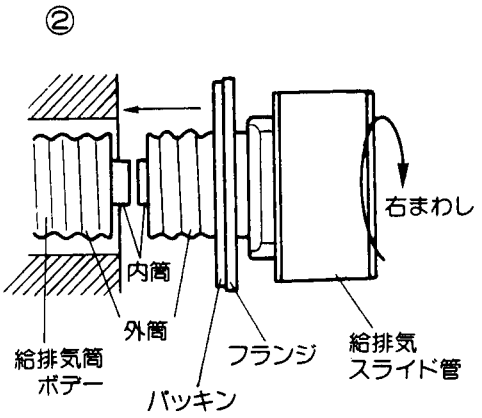
③. 給排気スライド管の内筒(φ70部分)を給排気筒ボデーの内筒に差し込み、その後、外筒どうしをネジ込んで、屋外側フランジが外壁に密着するまでスライド管をネジ込んでください。(壁厚150~250mmの場合)

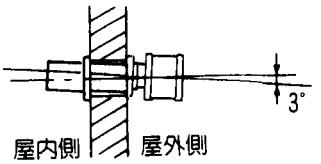
④. 壁厚が150以下の場合は屋外側フランジを移動させてフランジを付属の固定ネジで外壁に取付けてください。(最小壁厚は65mmです)

●フランジの内、外周にパテまたはコーキング材を塗布し壁の中に雨水が進入するのを防いでください。

注 意

給排気筒のフランジを正しく付けると約3°の傾斜で下向きになります。給排気筒が上向き(逆に取付けると)雨水などが給排気筒に入り込み逆流して給湯機の故障の原因となります。



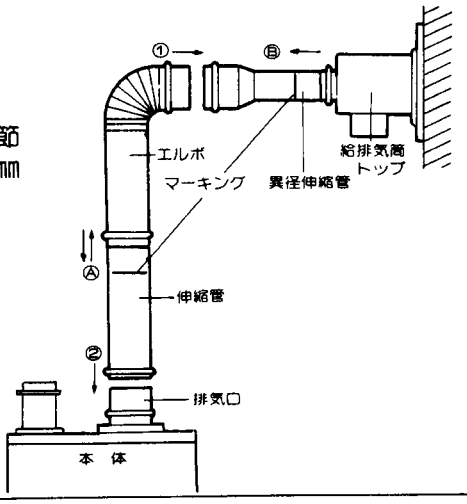


3.排気筒の接続

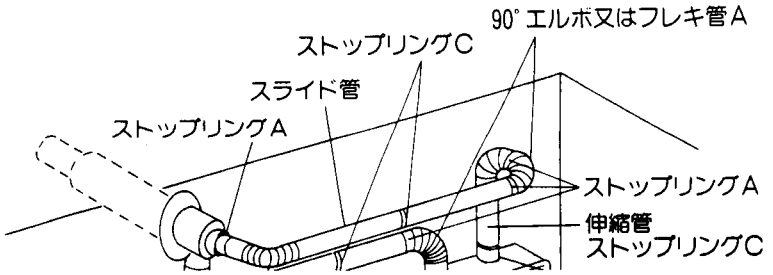
①エルボを異径伸縮管に差込みます。
②伸縮管を本体排気口に差込みます。

●高さ方向の調節はⒶの部分の接続で、横方向の調節はⒷの部分の接続で、Ⓑの部分はスライド巾 160mm
Ⓐの部分はスライド巾40mmまで可能です。

ただし、伸縮管、及び異径伸縮管の挿入部の先端から40mmの位置のマーキング(赤)以上差込んでください。
※接続部は40mm以上挿入しないと排ガスが漏れる恐れがあります。



〈延長例①〉



5.ストップリ

●排気筒から排ガス
危険です。排気筒
ストップリング
よう確実に固定

両方にリブ

②の接続部には、
グAを、それぞれの
に挿入して確実に固

エルボと

③の接続部には
C(φ80用)を伸縮管
をエルボのリブ部に
ストップリング固定
てください。

本体と

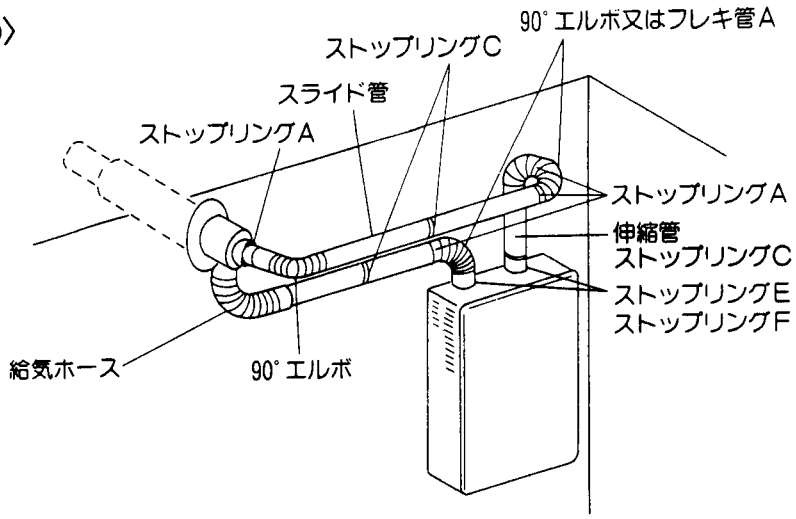
ストップリングE
先端爪部をエルボ
後、本体の爪部を
属のストップリン
で締付けます。

延長用部材別販売

1.φ80P用延長給排

スライド管	78
90° エルボ	
スライド式 取付金具	

〈延長例①〉



●延長方式の必要別販部材例

名　称	品　番	形　状	延長例②	延長例③
スライド管	FH-81V-40 FH-81V-60 FH-81V-140	L＝250～380 L＝381～600 L＝782～1422	2個 - 1個	1個 - 1個
90°エルボ	FH-81V-L1		3個	2個
ストップリングA	FH-81V-KA		5個	3個
ストップリングC	FH-81V-KC		3個	2個
延長用 ストップリング	FH-81V-KR	ストップリングE　ストップリングF	1セット	1セット

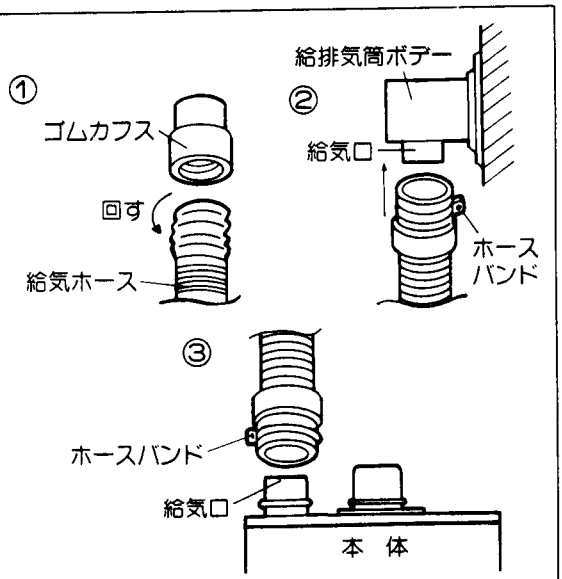
4.給気ホースの取付け

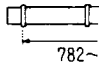
①. 給気ホースの両端にゴムカフスをねじ込み接続してください。(左ネジです)

②. 給排気筒ボデーの給気口にゴムカフスを差し込み、付属のホースバンドでしっかり固定してください。

③. 給気ホースを引伸ばして、もう一方のゴムカフスを、機器本体の給気口に差し込み、付属のホースバンドでしっかり固定してください。

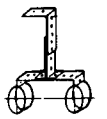
●延長方式の場合は、ゴムカフス～機器本体への間に延長部材を取付けます。





90°エルボ

スライド式
取付金具



2.単　品

名　称	品　番	
直　管	FH-80V-15 FH-80V-30 FH-80V-60 FH-80V-90	L L L L
スライド管	FH-81V-40 FH-81V-60 FH-81V-140	L L L
フレキ管A	FH-81V-F45	L
90°エルボ	FH-81V-L1	
45°エルボ	FH-81V-L2	
延長用 ストップリング	FH-81V-KR	

延長方式で

●必ず排気屋内
保温がないと

4 給

給排気筒の取付け工

●給排気筒が正しい
●可燃物、カーテン
●給排気筒が上り勾
●排気筒の接続部が
●排気筒と給気ホー
●給排気筒の掃除は
さい。

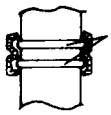
書

5.ストップリングの取付け

●排気筒から排ガスが漏れると非常に危険です。排気筒取付け後、付属のストップリングで接続部が抜けないよう確実に固定してください。

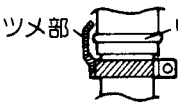
両方にリブがある接続部

②の接続部には、付属のストップリングAを、それぞれのリブをはさみ込む様に挿入して確実に固定してください。



片方のみにリブがある接続部

①の接続部には付属のストップリングD(φ70用)を異径伸縮管に挿入し、先端爪部(2ヵ所)を、給排気筒トップのリブ部に引っ掛けた後、付属のストップリング固定ネジできつく締付けてください。

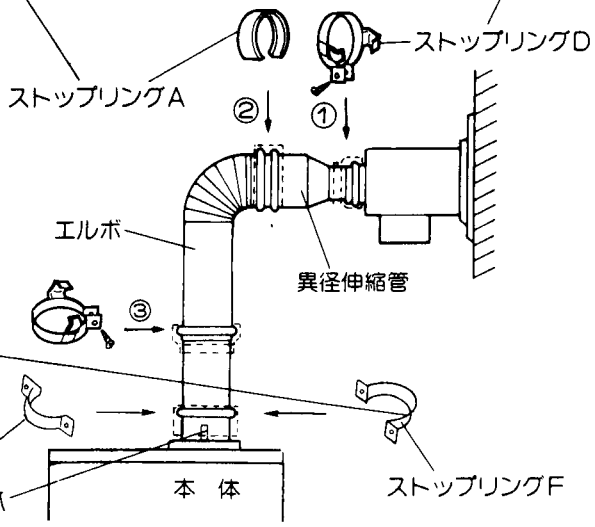


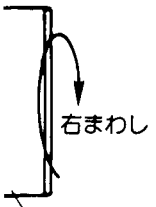
エルボと伸縮管の接続

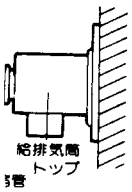
③の接続部には付属のストップリングC(φ80用)を伸縮管に挿入し、先端爪部をエルボのリブ部に引っ掛けた後付属のストップリング固定ネジできつく締付けてください。

本体との接続部

ストップリングEとストップリングFの先端爪部をエルボのリブ部に引っ掛けた後、本体の爪部をはさみ込む様にして付属のストップリング固定ネジ(2ヵ所)で締付けます。



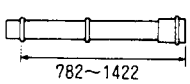




延長用部材別販品

標高500m以上の高地では延長はできません。

1.φ80P用延長給排気筒セット(FH-81VS)

スライド管 	2個	ストップリングA	2個
90°エルボ	2個	ストップリングC	1個
スライド式取付金具		ストップリング固定ネジ	2個

延長用部材別販品

標高500m以上の高地では延長はできません。

1.φ80P用延長給排気筒セット（FH-81VS）

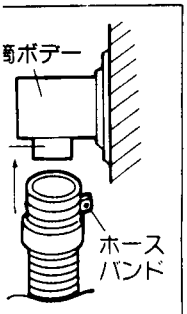
スライド管	782～1422 2個	ストップリングA	2個
90°エルボ	2個	ストップリングC	1個
スライド式取付金具	1個	ストップリング固定ネジ	2個
		取付金具固定ネジ	2個

2.単　品

名　称	品　番	形　状	
直　管	FH-80V-15 FH-80V-30 FH-80V-60 FH-80V-90	L=150 L=300 L=600 L=900	28 L
スライド管	FH-81V-40 FH-81V-60 FH-81V-140	L=250～380 L=381～600 L=782～1422	28 L
フレキ管A	FH-81V-F45	L=450	28 450
90°エルボ	FH-81V-L1		151 123
45°エルボ	FH-81V-L2		158 66
延長用ストップリング	FH-81V-KR		ストップリングE　ストップリングF

名　称	品　番	形　状
ストップリングA	FH-81V-KA	
ストップリングC	FH-81V-KC	
スライド式取付金具	FH-81V-KTS	300～600 150～260
取付金具	FH-81V-KT	
排気屋内延長用断熱材	FH-DG	(グラスウール)
	FH-DP1.5 FH-DP1.0	(1.5m) (1.0m)　(ポリアミド繊維)

長例②	延長例③
2個 - 1個	1個 - 1個
3個	2個
5個	3個
3個	2個
セット	1セット



体

延長方式で排気管の周囲温度が冬期0℃以下になる場合

●必ず排気屋内延長用断熱材(別販品)で排気管の保温工事をおこなってください。
保温がないと燃焼ガスの結露水凍結で排気管閉塞の原因となります。

4 給排気筒の点検と掃除

給排気筒の取付け工事が終わりましたら、下記の項目をもう一度点検してください。

- 給排気筒が正しい場所に取付けられていること。又、標準取付け寸法以上になっていること。
- 可燃物、カーテン、洗たく物などが給排気筒に接触していないこと。
- 給排気筒が上り勾配になっていないこと。
- 排気筒の接続部がゆるんでいないこと。(ストップリングで固定されていること。)
- 排気筒と給気ホースとは少なくとも4cm以上離れていること。
- 給排気筒の掃除は必ず運転が停止し給排気筒の温度が下がったことを確認してから行なってください。